第6回 新みやしろ郷土かるた制作委員会 議事録						
日	時	平成28年8月30日(火)18時~20時15分				
会	場	宮代町役場 204会議室				
出	席	委 員:田中委員長、関根副委員長、岡本、鈴木、青柳、青木、栗本、浅倉、松本、石川 事務局:佐藤室長、田中、小林 (敬称略・順不同)				
欠	席	なし				
傍	聴	なし				

## 1 次第

- (1) 開会
- (2)挨拶
- (3)審議 読み句の2次選定(前回の続き)
  - ① 資料説明
  - ② 読み句の選定
- (4) その他 11月までの会議日程の確認
- (5) 閉会



### 2 議事

(3) 審議 読み句の2次選定(前回の続き)

① 資料説明 -----

●選定の手順及び採点用資料について事務局から説明

## 決定事項

- ■選定の前提として、優先題材について以下の事項を確認
  - (1)「宮代町の名称」を題材とした作品に、「姫宮神社」「身代神社」も題材として含まれるものとする
  - (2)「どんぐりピアノ」を題材とした作品は、「須賀小学校」の作品として扱うこととする
  - (3) 準優先題材として以下を追加
    - ①遺跡(前原、山崎山、金原、道仏、逆井)
    - ②日光御成道、鎌倉街道
    - ③五社神社(みかん投げ)
    - ④伝承(宮目姫、おいてけ堀、ぶっさり地蔵、身代わり薬師)
    - ⑤桜市
    - ⑥はらっパーク宮代
    - (7)キャンドルナイト
    - ⑧イルミネーション

#### ② 読み句の選定 -----

●「あ」音から順に選定を実施

### 決定事項

各音の候補作品を対象に協議し、以下の作品を選定した。

■仮採用:35音 保留:11音

2 い 憩いの場 町のシンボル 進修館       25 の 農の道 四季を楽しむ 散歩道         3 う 保留       26 は ハクモクレン 白く輝く 町の花         4 え 保留       27 ひ 姫宮と 身代合わせて 宮代町         5 お おいてけと 池から声する 身代池 28 ふ ふくよかな 阿弥陀三尊 西光院       6 か 観音像 いくつもの時と 世代越え 29 へ 平安の 美しき姫 宮目姫         7 き 保留       30 ほ 保留         8 く ぐるるでは 泳いで投げて 走ろうよ 31 ま 保留       9 け 健康を 願って回る おししさま 32 み 保留         10 こ 五社神社 年に一度の みかんなげ 33 む 保留       11 さ 三駅が 絆をつなぐ 宮代町 34 め 保留         12 し 真蔵院 歴史を語る 仁王像 35 も 百間小 学びの始まり 明治から 13 す 保留       36 や 山崎山 自然を守ろう トラスト運動 14 せ せんげんじんじゃ じょうぶにそだてと ねがいこめ 37 ゆ ゆめのせて 雲の果てにの ハーモニー 15 そ そびえたつ いちょうがかがやく 宝生院 38 よ 夜にわく わっしょいかけ声 夏祭 16 た 旅人を 各地へ導く 道しるべ 39 ら ライトアップ 冬の楽しみ イルミネーション 17 ち ちょうみんの えがおあふれる けんこうまっぽ 40 り 竜宮城 赤い校舎の 笠原小 18 つ 保留 41 る るり色の カワセミ飛び交う 姫宮落 19 て 天高く 葉をつけ伸びる シイガシの木 42 れ 歴史ある 木造校舎の 東小 20 と 時をこえ 歴史がいっぱい し料館 43 ろ 蝋燭に 感謝を点す(ともす) キャンドルナイト 21 な 中道 (なかつみち) いざ鎌倉と 武士通る 44 わ 和戸教会 埼玉初の キリスト教会 22 に 日光と 江戸をつなげる おなり道 45 を 日本語と 英語をつないだ 島村盛助						
3   う   保留   26   は   ハクモクレン 白く輝く 町の花   4   え   保留   27   ひ   姫宮と   身代合わせて   宮代町   5   お   おいてけと   池から声する   身代池   28   ふ   ふくよかな   阿弥陀三尊   西光院   6   か   観音像   いくつもの時と 世代越え   29   へ   平安の   美しき姫   宮目姫   7   き   保留   30   ほ   保留   8   く ぐるるでは 泳いで投げて 走ろうよ   31   ま   保留   8   く ぐるるでは 泳いで投げて 走ろうよ   31   ま   保留   10   こ   五社神社   年に一度の   みかんなげ   33   む   保留   11   さ   三駅が   絆をつなぐ   宮代町   34   め   保留   11   さ   三駅が   絆をつなぐ   宮代町   34   め   保留   12   し   真蔵院   歴史を語る   仁王像   35   も   百間小   学びの始まり   明治から   13   す   保留   36   や   山崎山   自然を守ろう   トラスト運動   14   せ   せんげんじんじゃ じょうぶにそだてと   ねがいこめ   37   ゆ   ゆめのせて   雲の果てにの   ハーモニー   15   そ   そびえたつ   いちょうがかがやく   宝生院   38   よ   夜にわく   わっしょいかけ声   夏祭   16   た   旅人を   各地へ導く   道しるべ   39   ら   ライトアップ   冬の楽しみ   イルミネーション   17   ち   ち   ち   ち   かんで   ま   ま   も   も   も   も   も   も   も   も	1	あ	憧れと 夢がつまった どんぐりピアノ	24	ね	年齢を 越えて集う はらっパーク
4       え 保留       27       ひ 姫宮と 身代合わせて 宮代町         5       お おいてけと 池から声する 身代池 28       ふ ふくよかな 阿弥陀三尊 西光院         6       か 観音像 いくつもの時と 世代越え 29       へ 平安の 美しき姫 宮目姫         7       き 保留       30       ほ 保留         8       く ぐるるでは 泳いで投げて 走ろうよ 31       ま 保留         9       け 健康を 願って回る おししさま 32       み 保留         10       こ 五社神社 年に一度の みかんなげ 33       む 保留         11       さ 三駅が 絆をつなぐ 宮代町 34       め 保留         12       し 真蔵院 歴史を語る 仁王像 35       も 百間小 学びの始まり 明治から 36         13       す 保留         14       せ せんげんじんじゃ じょうぶにそだてと ねがいこめ 37       ゆ ゆめのせて 雲の果てにの ハーモニー 55         15       そ ぞびえたつ いちょうがかがやく 宝生院 38       よ 夜にわく わっしよいかけ声 夏祭 56         16       た 旅人を 各地へ導く 道しるべ 39       ら ライトアップ 冬の楽しみ イルミネーション 57         17       ち ちょうみんの えがおあふれる けんこうまっぽ 40       り 竜宮城 赤い校舎の 笠原小 41         18       つ 保留 41       る るり色の カワセミ飛び交う 姫宮落 19         19       て 天高く 葉をつけ伸びる シイガシの木 42       れ 歴史ある 木造校舎の 東小         20       と 時をこえ 歴史がいっぱい し料館 43       ろ 蝋燭に 感謝を点す (ともす) キャンドルナイト 21         21       な 中道 (なかつみち) いざ鎌倉と 武士通る 44       わ 和戸教会 埼玉初の キリスト教会 5         22       に 日光と 江戸をつなげる おなり道 45       を 日本語と 英語をつないだ 島村盛助	2	い	憩いの場 町のシンボル 進修館	25	の	農の道 四季を楽しむ 散歩道
5       お おいてけと 池から声する 身代池       28       ふ ふくよかな 阿弥陀三尊 西光院         6       か 観音像 いくつもの時と 世代越え       29       へ 平安の 美しき姫 宮目姫         7       き 保留       30       ほ 保留         8       く ぐるるでは 泳いで投げて 走ろうよ       31       ま 保留         9       け 健康を 願って回る おししさま       32       み 保留         10       こ 五社神社 年に一度の みかんなげ       33       む 保留         11       さ 三駅が 絆をつなぐ 宮代町       34       め 保留         12       し 真蔵院 歴史を語る 仁王像       35       も 百間小 学びの始まり 明治から         13       す 保留       36       や 山崎山 自然を守ろう トラスト運動         14       せ せんげんじんじゃ じょうぶにそだてと ねがいこめ       37       ゆ ゆめのせて 雲の果てにの ハーモニー         15       そ そびえたつ いちょうがかがやく 宝生院       38       よ 夜にわく わっしょいかけ声 夏祭         16       た 旅人を 各地へ導く 道しるべ       39       ら ライトアップ 冬の楽しみ イルミネーション         17       ち ようみんの えがおあふれる けんこうまっぽ 40       り 竜宮城 赤い校舎の 笠原小         18       つ 保留       41       る もり色の カワセミ飛び交う 姫宮落         19       て 天高く 葉をつけ伸びる シイガシの木       42       れ 歴史ある 木造校舎の 東小         20       と 時をこえ 歴史がいっぱい し料館       43       ろ 蝋燭に 感謝を点す (ともす) キャンドルナイト         21       な 中道 (なかつみち) いざ鎌倉と 武士通る       44       わ 和戸教会 埼玉初の キリスト教会         22       に 日光と 江戸をつなげる おな	3	う	保留	26	は	ハクモクレン 白く輝く 町の花
6 か 観音像 いくつもの時と 世代越え 29 へ 平安の 美しき姫 宮目姫 7 き 保留 30 ほ 保留 8 く ぐるるでは 泳いで投げて 走ろうよ 31 ま 保留 9 け 健康を 願って回る おししさま 32 み 保留 10 こ 五社神社 年に一度の みかんなげ 33 む 保留 11 さ 三駅が 絆をつなぐ 宮代町 34 め 保留 12 し 真蔵院 歴史を語る 仁王像 35 も 百間小 学びの始まり 明治から 13 す 保留 36 や 山崎山 自然を守ろう トラスト運動 14 せ せんげんじんじゃ じょうぶにそだてと ねがいこめ 37 ゆ ゆめのせて 雲の果てにの ハーモニー 15 そ そびえたつ いちょうがかがやく 宝生院 38 よ 夜にわく わっしょいかけ声 夏祭 16 た 旅人を 各地へ導く 道しるべ 39 ら ライトアップ 冬の楽しみ イルミネーション 17 ち ちょうみんの えがおあふれる けんこうまっぽ 40 り 竜宮城 赤い校舎の 笠原小 18 つ 保留 41 る るり色の カワセミ飛び交う 姫宮落 19 て 天高く 葉をつけ伸びる シイガシの木 42 れ 歴史ある 木造校舎の 東小 20 と 時をこえ 歴史がいっぱい し料館 43 ろ 蝋燭に 感謝を点す(ともす) キャンドルナイト 21 な 中道 (なかつみち) いざ鎌倉と 武士通る 44 わ 和戸教会 埼玉初の キリスト教会 22 に 日光と 江戸をつなげる おなり道 45 を 日本語と 英語をつないだ 島村盛助	4	え	保留	27	ひ	姫宮と 身代合わせて 宮代町
7 き 保留       30 ほ 保留         8 く ぐるるでは 泳いで投げて 走ろうよ       31 ま 保留         9 け 健康を 願って回る おししさま       32 み 保留         10 こ 五社神社 年に一度の みかんなげ       33 む 保留         11 さ 三駅が 絆をつなぐ 宮代町       34 め 保留         12 し 真蔵院 歴史を語る 仁王像       35 も 百間小 学びの始まり 明治から         13 す 保留       36 や 山崎山 自然を守ろう トラスト運動         14 せ せんげんじんじゃ じょうぶにそだてと ねがいこめ 37 ゆ ゆめのせて 雲の果てにの ハーモニー         15 そ そびえたつ いちょうがかがやく 宝生院 38 よ 夜にわく わっしょいかけ声 夏祭         16 た 旅人を 各地へ導く 道しるべ 39 ら ライトアップ 冬の楽しみ イルミネーション         17 ち ちょうみんの えがおあふれる けんこうまっぽ 40 り 竜宮城 赤い校舎の 笠原小         18 つ 保留 41 る るり色の カワセミ飛び交う 姫宮落         19 て 天高く 葉をつけ伸びる シイガシの木 42 れ 歴史ある 木造校舎の 東小         20 と 時をこえ 歴史がいっぱい し料館 43 ろ 蝋燭に 感謝を点す (ともす) キャンドルナイト         21 な 中道 (なかつみち) いざ鎌倉と 武士通る 44 わ 和戸教会 埼玉初の キリスト教会         22 に 日光と 江戸をつなげる おなり道 45 を 日本語と 英語をつないだ 島村盛助	5	お	おいてけと 池から声する 身代池	28	ふ	ふくよかな 阿弥陀三尊 西光院
8 く ぐるるでは 泳いで投げて 走ろうよ 31 ま 保留 9 け 健康を 願って回る おししさま 32 み 保留 10 こ 五社神社 年に一度の みかんなげ 33 む 保留 11 さ 三駅が 絆をつなぐ 宮代町 34 め 保留 12 し 真蔵院 歴史を語る 仁王像 35 も 百間小 学びの始まり 明治から 13 す 保留 36 や 山崎山 自然を守ろう トラスト運動 14 せ せんげんじんじゃ じょうぶにそだてと ねがいこめ 37 ゆ ゆめのせて 雲の果てにの ハーモニー 15 そ そびえたつ いちょうがかがやく 宝生院 38 よ 夜にわく わっしょいかけ声 夏祭 16 た 旅人を 各地へ導く 道しるべ 39 ら ライトアップ 冬の楽しみ イルミネーション 17 ち ちょうみんの えがおあふれる けんこうまっぽ 40 り 竜宮城 赤い校舎の 笠原小 18 つ 保留 41 る るり色の カワセミ飛び交う 姫宮落 19 て 天高く 葉をつけ伸びる シイガシの木 42 れ 歴史ある 木造校舎の 東小 20 と 時をこえ 歴史がいっぱい し料館 43 ろ 蝋燭に 感謝を点す(ともす) キャンドルナイト 21 な 中道 (なかつみち) いざ鎌倉と 武士通る 44 わ 和戸教会 埼玉初の キリスト教会 22 に 日光と 江戸をつなげる おなり道 45 を 日本語と 英語をつないだ 島村盛助	6	か	観音像 いくつもの時と 世代越え	29	^	平安の 美しき姫 宮目姫
9 け 健康を 願って回る おししさま 32 み 保留 10 こ 五社神社 年に一度の みかんなげ 33 む 保留 11 さ 三駅が 絆をつなぐ 宮代町 34 め 保留 12 し 真蔵院 歴史を語る 仁王像 35 も 百間小 学びの始まり 明治から 13 す 保留 36 や 山崎山 自然を守ろう トラスト運動 14 せ せんげんじんじゃ じょうぶにそだてと ねがいこめ 37 ゆ ゆめのせて 雲の果てにの ハーモニー 15 そ そびえたつ いちょうがかがやく 宝生院 38 よ 夜にわく わっしょいかけ声 夏祭 16 た 旅人を 各地へ導く 道しるべ 39 ら ライトアップ 冬の楽しみ イルミネーション 17 ち ちょうみんの えがおあふれる けんこうまっぽ 40 り 竜宮城 赤い校舎の 笠原小 18 つ 保留 41 る るり色の カワセミ飛び交う 姫宮落 19 て 天高く 葉をつけ伸びる シイガシの木 42 れ 歴史ある 木造校舎の 東小 20 と 時をこえ 歴史がいっぱい し料館 43 ろ 蝋燭に 感謝を点す (ともす) キャンドルナイト 21 な 中道 (なかつみち) いざ鎌倉と 武士通る 44 わ 和戸教会 埼玉初の キリスト教会 22 に 日光と 江戸をつなげる おなり道 45 を 日本語と 英語をつないだ 島村盛助	7	き	保留	30	ほ	保留
10   こ   五社神社   年に一度の   みかんなげ   33   む   保留   11   さ   三駅が   絆をつなぐ   宮代町   34   め   保留   12   し   真蔵院   歴史を語る   仁王像   35   も   百間小   学びの始まり   明治から   13   す   保留   36   や   山崎山   自然を守ろう   トラスト運動   14   せ   せんげんじんじゃ じょうぶにそだてと ねがいこめ   37   ゆ   ゆめのせて   雲の果てにの   ハーモニー   15   そ   そびえたつ   いちょうがかがやく   宝生院   38   よ   夜にわく   わっしょいかけ声   夏祭   16   た   旅人を   各地へ導く   道しるべ   39   ら   ライトアップ   冬の楽しみ   イルミネーション   17   ち   ちょうみんの   えがおあふれる   けんこうまっぽ   40   り   竜宮城   赤い校舎の   笠原小   18   つ   保留   41   る   るり色の   カワセミ飛び交う   姫宮落   19   て   天高く   葉をつけ伸びる   シイガシの木   42   れ   歴史ある   木造校舎の   東小   20   と   時をこえ   歴史がいっぱい   し料館   43   ろ   蝋燭に   感謝を点す (ともす)   キャンドルナイト   21   な   中道 (なかつみち) いざ鎌倉と   武士通る   44   わ   和戸教会   埼玉初の   キリスト教会   22   に   日光と   江戸をつなげる   おなり道   45   を   日本語と   英語をつないだ   島村盛助	8	<b>\</b>	ぐるるでは 泳いで投げて 走ろうよ	31	ま	保留
11   さ   三駅が 絆をつなぐ 宮代町   34   め   保留   12   し   真蔵院 歴史を語る 仁王像   35   も   百間小 学びの始まり 明治から   13   寸   保留   36   や   山崎山   自然を守ろう   トラスト運動   14   世   世んげんじんじゃ じょうぶにそだてと ねがいこめ   37   ゆ   ゆめのせて   雲の果てにの   ハーモニー   15   そ   そびえたつ   いちょうがかがやく   宝生院   38   よ   夜にわく   わっしょいかけ声   夏祭   16   た   旅人を   各地へ導く   道しるべ   39   ら   ライトアップ   冬の楽しみ   イルミネーション   17   ち   ちょうみんの えがおあふれる けんこうまっぽ   40   り   竜宮城   赤い校舎の   笠原小   18   つ   保留   41   る   るり色の   カワセミ飛び交う   姫宮落   19   で   天高く   葉をつけ伸びる   シイガシの木   42   れ   歴史ある   木造校舎の   東小   20   と   時をこえ   歴史がいっぱい   し料館   43   ろ   蝋燭に   感謝を点す (ともす)   キャンドルナイト   21   な   中道 (なかつみち) いざ鎌倉と   武士通る   44   わ   和戸教会   埼玉初の   キリスト教会   22   に   日光と   江戸をつなげる   おなり道   45   を   日本語と   英語をつないだ   島村盛助	9	け	健康を 願って回る おししさま	32	み	保留
12   し 真蔵院 歴史を語る 仁王像   35   も 百間小 学びの始まり 明治から   13   寸   保留   36   や   山崎山   自然を守ろう   トラスト運動   14   せ   せんげんじんじゃ じょうぶにそだてと ねがいこめ   37   ゆ   ゆめのせて   雲の果てにの   ハーモニー   15   ぞ   そびえたつ   いちょうがかがやく   宝生院   38   よ   夜にわく   わっしょいかけ声   夏祭   16   た   旅人を   各地へ導く   道しるべ   39   ら   ライトアップ   冬の楽しみ   イルミネーション   17   ち   ちょうみんの   えがおあふれる   けんこうまっぽ   40   り   竜宮城   赤い校舎の   笠原小   18   つ   保留   41   る   るり色の   カワセミ飛び交う   姫宮落   19   で   天高く   葉をつけ伸びる   シイガシの木   42   れ   歴史ある   木造校舎の   東小   20   と   時をこえ   歴史がいっぱい   し料館   43   ろ   蝋燭に   感謝を点す (ともす)   キャンドルナイト   21   な   中道 (なかつみち) いざ鎌倉と   武士通る   44   わ   和戸教会   埼玉初の   キリスト教会   22   に   日光と   江戸をつなげる   おなり道   45   を   日本語と   英語をつないだ   島村盛助	10	١J	五社神社 年に一度の みかんなげ	33	ú	保留
13   す   保留   36   や   山崎山   自然を守ろう   トラスト運動   14   せ   せんげんじんじゃ じょうぶにそだてと ねがいこめ   37   ゆ   ゆめのせて   雲の果てにの   ハーモニー   15   そ でびえたつ いちょうがかがやく 宝生院   38   よ   夜にわく   わっしょいかけ声   夏祭   16   た   旅人を   各地へ導く   道しるべ   39   ら   ライトアップ   冬の楽しみ   イルミネーション   17   ち   ちょうみんの えがおあふれる けんこうまっぱ   40   り   竜宮城   赤い校舎の   笠原小   18   つ   保留   41   る   るり色の   カワセミ飛び交う   姫宮落   19   て   天高く   葉をつけ伸びる   シイガシの木   42   れ   歴史ある   木造校舎の   東小   20   と   時をこえ   歴史がいっぱい   し料館   43   ろ   蝋燭に   感謝を点す (ともす)   キャンドルナイト   21   な   中道 (なかつみち) いざ鎌倉と   武士通る   44   わ   和戸教会   埼玉初の   キリスト教会   22   に   日光と   江戸をつなげる   おなり道   45   を   日本語と   英語をつないだ   島村盛助	11	ゃ	三駅が 絆をつなぐ 宮代町	34	8	保留
14 せ せんげんじんじゃ じょうぶにそだてと ねがいこめ   37 ゆ ゆめのせて 雲の果てにの ハーモニー   15 そ そびえたつ いちょうがかがやく 宝生院   38 よ 夜にわく わっしょいかけ声 夏祭   16 た 旅人を 各地へ導く 道しるべ   39 ら ライトアップ 冬の楽しみ イルミネーション   17 ち ちょうみんの えがおあふれる けんこうまっぽ   40 り 竜宮城 赤い校舎の 笠原小   18 つ 保留   41 る るり色の カワセミ飛び交う 姫宮落   19 て 天高く 葉をつけ伸びる シイガシの木   42 れ 歴史ある 木造校舎の 東小   20 と 時をこえ 歴史がいっぱい し料館   43 ろ 蝋燭に 感謝を点す(ともす) キャンドルナイト   21 な 中道(なかつみち) いざ鎌倉と 武士通る   44 わ 和戸教会 埼玉初の キリスト教会   22 に 日光と 江戸をつなげる おなり道   45 を 日本語と 英語をつないだ 島村盛助	12	د	真蔵院 歴史を語る 仁王像	35	ŧ	百間小 学びの始まり 明治から
15   そ   そびえたつ いちょうがかがやく 宝生院   38   よ   夜にわく   わっしょいかけ声   夏祭   16   た   旅人を   各地へ導く   道しるべ   39   ら   ライトアップ   冬の楽しみ   イルミネーション   17   ち   ちょうみんの えがおあふれる けんこうまっぽ   40   り   竜宮城   赤い校舎の   笠原小   18   つ   保留   41   る   るり色の   カワセミ飛び交う   姫宮落   19   て   天高く   葉をつけ伸びる   シイガシの木   42   れ   歴史ある   木造校舎の   東小   20   と   時をこえ   歴史がいっぱい   し料館   43   ろ   蝋燭に   感謝を点す (ともす)   キャンドルナイト   21   な   中道 (なかつみち) いざ鎌倉と   武士通る   44   わ   和戸教会   埼玉初の   キリスト教会   22   に   日光と   江戸をつなげる   おなり道   45   を   日本語と   英語をつないだ   島村盛助	13	す	保留	36	や	山崎山 自然を守ろう トラスト運動
16   た   旅人を   各地へ導く   道しるべ   39   ら   ライトアップ   冬の楽しみ イルミネーション   17   ち   ちょうみんの えがおあふれる けんこうまっぽ   40   り   竜宮城   赤い校舎の   笠原小   18   つ   保留   41   る   るり色の   カワセミ飛び交う   姫宮落   19   て   天高く   葉をつけ伸びる   シイガシの木   42   れ   歴史ある   木造校舎の   東小   20   と   時をこえ   歴史がいっぱい   し料館   43   ろ   蝋燭に   感謝を点す (ともす)   キャンドルナイト   21   な   中道 (なかつみち) いざ鎌倉と   武士通る   44   わ   和戸教会   埼玉初の   キリスト教会   22   に   日光と   江戸をつなげる   おなり道   45   を   日本語と   英語をつないだ   島村盛助	14	Ψ	せんげんじんじゃ じょうぶにそだてと ねがいこめ	37	Ф	ゆめのせて 雲の果てにの ハーモニー
17   5   5ょうみんの えがおあふれる けんこうまっぽ   40   り   竜宮城 赤い校舎の 笠原小   18   つ   保留   41   る   るり色の カワセミ飛び交う 姫宮落   19   て   天高く 葉をつけ伸びる シイガシの木   42   れ   歴史ある   木造校舎の 東小   20   と   時をこえ   歴史がいっぱい   し料館   43   ろ   蝋燭に   感謝を点す(ともす)   キャンドルナイト   21   な   中道(なかつみち) いざ鎌倉と 武士通る   44   わ   和戸教会   埼玉初の   キリスト教会   22   に   日光と   江戸をつなげる   おなり道   45   を   日本語と 英語をつないだ   島村盛助	15	そ	そびえたつ いちょうがかがやく 宝生院	38	埢	夜にわく わっしょいかけ声 夏祭
18つ 保留41る るり色の カワセミ飛び交う 姫宮落19て 天高く 葉をつけ伸びる シイガシの木 42れ 歴史ある 木造校舎の 東小20と 時をこえ 歴史がいっぱい し料館 43ろ 蝋燭に 感謝を点す(ともす) キャンドルナイト21な 中道 (なかつみち) いざ鎌倉と 武士通る 44わ 和戸教会 埼玉初の キリスト教会22に 日光と 江戸をつなげる おなり道 45を 日本語と 英語をつないだ 島村盛助	16	た	旅人を 各地へ導く 道しるべ	39	رگ	ライトアップ 冬の楽しみ イルミネーション
19 て 天高く 葉をつけ伸びる シイガシの木 42 れ 歴史ある 木造校舎の 東小 20 と 時をこえ 歴史がいっぱい し料館 43 ろ 蝋燭に 感謝を点す(ともす) キャンドルナイト 21 な 中道(なかつみち)いざ鎌倉と 武士通る 44 わ 和戸教会 埼玉初の キリスト教会 22 に 日光と 江戸をつなげる おなり道 45 を 日本語と 英語をつないだ 島村盛助	17	ち	ちょうみんの えがおあふれる けんこうまっぽ	40	IJ	竜宮城 赤い校舎の 笠原小
20 と 時をこえ 歴史がいっぱい し料館 43 ろ 蝋燭に 感謝を点す(ともす) キャンドルナイト       21 な 中道(なかつみち) いざ鎌倉と 武士通る 44 わ 和戸教会 埼玉初の キリスト教会       22 に 日光と 江戸をつなげる おなり道 45 を 日本語と 英語をつないだ 島村盛助	18	<u>١</u>	保留	41	る	るり色の カワセミ飛び交う 姫宮落
21な 中道 (なかつみち) いざ鎌倉と 武士通る44わ 和戸教会 埼玉初の キリスト教会22に 日光と 江戸をつなげる おなり道45を 日本語と 英語をつないだ 島村盛助	19	τ	天高く 葉をつけ伸びる シイガシの木	42	れ	歴史ある 木造校舎の 東小
22 に 日光と 江戸をつなげる おなり道 45 を 日本語と 英語をつないだ 島村盛助	20	٤	時をこえ 歴史がいっぱい し料館	43	ろ	蝋燭に 感謝を点す(ともす) キャンドルナイト
	21	な	中道(なかつみち)いざ鎌倉と 武士通る	44	わ	和戸教会 埼玉初の キリスト教会
【 23 】 ぬ │ 沼を掘り上げ ホッツケつくった 井沢弥惣兵衛 【 46 】 ん │ 保留	22	12	日光と 江戸をつなげる おなり道	45	を	日本語と 英語をつないだ 島村盛助
To so the many the state of the	23	ぬ	沼を掘り上げ ホッツケつくった 井沢弥惣兵衛	46	ん	保留

## 主な意見・質疑応答等

#### ●「あ」 〈仮採用「どんぐりピアノ (須賀小)」〉

事務局前回、「め」で仮採用した作品と作者が競合している。どちらを採用するか、決定したい。

委員前回、小学校は4校すべてを題材として採用したい、ということだった。日工大が音、題材 両方で1位なので、須賀小のどんぐりピアノを他で採用するとなると、どうか。

事務局 事務局としては、「あ」音のどんぐりピアノの作品が、同じどんぐりピアノの作品の中では 抜きんでている、という印象を持っている。

委員 日工大を他で採用することができそうだから、「あ」はどんぐりピアノで良いのでは。

#### ●「い」 〈仮採用「進修館」〉

事務局 前回既に仮採用となっているので、今回もこのまま据え置きで良いか。

全 員 ※特に意見なし

事務局 なお、現時点で仮採用としても、最終的な決定の段階では、覆さなければいけない状況になることも考えられる。そこを含んでおいていただきたい。

## ●「う」 <保留>

事務局 「う」音については、作品が多く、それぞれ競合しているので、この段階で絞り込みをせず、 全体を概観してから選定した方が効率が良いので、保留としてよいか。

全員 ※特に意見なし

## ●「え」 <保留>

事務局「え」音も、複数の選択肢があるので、後回しにしたい。

### ●「お」 〈仮採用「おいてけ堀」〉

- 事務局 「お」音は、給食センターとおいてけ堀の2つが題材となっている。おいてけ堀は、準優先 題材の一つ。
- 委員 伝承系の題材をすべて採用することはできないと思う。おいてけ堀伝承の評価についてどのように判断すれば良いかがわからない。
- 委員 宮代町のおいてけ堀伝承は、埼玉県が作成している伝承資料にも掲載がある。また、子供たちに親しまれている部分もあると思うので、良いのではないか。
- 事務局 競合する給食センターは、他にも選択肢がある。おいてけ堀は、この「お」音の作品が有力 なので、こちらを仮採用として良いか。
- 全員 ※特に意見なし

### ●「か」 <仮採用「西方院十一面観音像」>

- 事務局 「か」音の作品では、資料にある郷土資料館、山崎山遺跡、備前堀川のほかに、優先題材の 西方院十一面観音像の作品も候補になる。十一面観音像の作品は、実質的に「か」音しか選 択肢がない状況。また、同じく優先題材である備前堀川は「か」音しか作品がない。したが って、ここでは優先題材で他に選択肢がない備前堀川と十一面観音像のどちらを選ぶか、と いうことになってくると思われる。
- 委員 和戸地区を代表する題材として、西方院の十一面観音を採用した方が良いと思う。町指定文 化財でもあり、西光院の阿弥陀三尊と並んで、双璧となる価値のあるものだと思う。一方の 備前堀川は、他の川の句とあわせて、別の手法を考えてみたらどうかと思うが。
- 事務局 郷土資料館、山崎山遺跡については、他に選択肢がある。難しい判断だが、ご意見のとおり 重要度なども鑑みると、十一面観音を仮採用という形で良いか。
- 委員 町の指定文化財ということを踏まえても、これで良いのではないか。
- 事務局 では、十一面観音像で仮採用としたい。

#### ●「や」 <仮採用「山崎山」>

- 事務局 「き」音には、優先題材であり、子供たちの道徳教材にもなっている山崎山を題材とした作品がある。「や」音にも、山崎山の句が3作品あり、まず、山崎山を題材とした句の絞り込みを、この時点で行っておいた方が良いと思われる。なお、和戸キリスト教会は、「わ」音に複数の作品があるため、そちらでの採用に絞り込むこととして、山崎山を、「き」と「や」のどちらで採用するか、だけでも決めていただきたい。
- 委員 山崎山といえば、トラスト運動がまず浮かんでくる。子供たちへの教育という側面に着目しても、トラストという言葉にも意味があると考える。また、埼玉県でもトラスト運動は重視されているものである。
- 委員 私も、山崎山を会場とした子供向けの事業にここ3年ほど関わっているが、トラスト運動は 大変重要であると思う。「や」音にあるトラストを詠みこんだ作品が良いと思う。
- 委員 「き」音には、和戸教会の句もある。こちらの方が良いのではないか。
- 事務局 先ほど申し上げた通り、和戸教会については、「わ」音にも複数の作品がある。そちらも併

せて検討したい。その前に、まず山崎山の題材について、判断していきたいが、いかがか。

**委員**「や」音にある山崎山とトラストを詠んだ作品は、語呂としては、やや課題があると思う。

事務局 語呂の問題は、最終的に作品の一部を修正することを見据えても良いと思う。山崎山の句については、「や」音の912番を採用としたい。

#### ●「き」 <保留>

事務局 これを踏まえて、「き」音の作品は、キャンドルナイト、木造庁舎、和戸教会が残る。

委員 和戸キリスト教会の句は、他に候補があるのか。

事務局 和戸キリスト教会の作品は、他に「わ」音にある。「わ」音で競合するハナレンジャーも、 他の音で作品がある。

委員 表現としては、「和戸教会」と、きっちりと固有名詞を言い切った方が良いと思う。

事務局 ここまでを踏まえると、「き」音については、キャンドルナイトと木造庁舎を残して、保留 とすることで良いか。

全 員 ※特に意見なし

### ●「く」 〈仮採用「ぐるる宮代」>

事務局前回の会議で、ぐるる宮代で仮採用しているので、そのままで良いか。

全 員 異議なし

### ●「け」 〈仮採用「おししさま」〉

事務局 おししさまの句が、音順位、題材順位の両方で1位となっている。

委員 おししさまの行事は、今も行われているのか。

委員 前原地区で行われている。

事務局 音、題材で1位で、内容的にも問題がないので、とりあえず仮採用として良いか。

全 員 異議なし

### ●「こ」 <仮採用「五社神社」>

#### ●「ひ」 <仮採用「宮代町の名称」>

事務局 宮代町の名称の句は「こ」と「ひ」にそれぞれ1作品ずつあり、2つの違いは、身代と姫宮 の言葉が入れ替わっただけのものである。

委員 宮代町は、「宮」が前、「代」が後なのだから、素直にそれに従った方が良いと思う。宮代町 の名称は、「ひ」音の作品を採用すればよいのでは。

事務局 それでは、まず、宮代町の名称の句については、「ひ」音の作品を採用として良いか。

全 員 異議なし

事務局 続いて、「こ」音は、五社神社の題材1位作品が、表現に課題があるため、前回会議で見送りとなっている。したがって、次点であるこの作品を仮採用として問題ないと思われる。

全 員 異議なし

#### ●「さ」 <仮採用「駅」>

事務局 「さ」音については、優先題材ではないが、前回、仮採用となっているのでそのままとした

V,

全 員 異議なし

### ●「し」 <仮採用「真蔵院」>

事務局 「し」音についても、前回、仮採用となっているのでそのままとしたい。

全 員 異議なし

#### ●「す」 <保留>

事務局 隼人堀川を題材とした作品。前回も保留扱いとなっている。

委員 これについては、他の題材とのバランスを考えなければいけない。たとえば、「水田を うるわせみたす 用水路」などに修正してはどうか。そうすることで、宮代町の水路すべてを網羅する、という方法がとれないだろうか。

委員前回、川は全部入れる、ということになっていなかったか。

事務局 前回、優先題材として備前堀川、姫宮落川、古利根川を設定したが、先ほど、「か」音の検 討で備前堀川が見送られたため、残っている優先題材は姫宮落川と古利根川となる。

委員 知名度では、姫宮落川が最も知られていると思う。

事務局「す」音については、句の修正も含みつつ、保留としたい。

### ●「せ」 <仮採用「浅間神社」>

事務局 前回、仮採用されている。読みが長いという印象もあり課題があるが、現段階ではそのまま 仮採用としたい。

全員 ※特に意見なし

### ●「そ」 〈仮採用「大イチョウ」〉

事務局 前回、仮採用とされている。そのまま仮採用としたい。

全 員 ※特に意見なし

### ●「た」 〈仮採用「道しるべ」〉

事務局 「た」音は、重殿社の作品がある。重殿社については、得点44点で総合1位だった作品もあるが、施設の規模や知名度の問題やぞうりの奉納が現在は行われていないなどの状況から保留扱いとなっていた。まずは、この点についての判断をしなければならないが、もし重殿社を題材とした作品を採用するのであれば、総合得点1位の「ね」音の作品を優先して採用するべきと思われる。となると、「た」音については、次点の道しるべの作品が仮採用の候補となってくる。

**委** 員 道しるべは、学園台に残っているものが有名だが、他にも町内に多く残っている。

事務局 道しるべは、初代かるたの「あ」音の印象が強く、それと比較すると、ややインパクトに欠ける印象も否めないが、ひとまず仮採用とすることで良いか。

全 員 ※特に意見なし

#### ●「ち」 <仮採用「健康マッ歩」>

事務局 体育祭の作品が1位だが、「ね」音にも高得点の作品が掲載されている。

**委** 員 絆という言葉を含んだ作品は、「さ」音で仮採用されており、問題があるのでは。

- 委員 体育祭については、既にぐるる宮代が仮採用になっている。そちらと重複するのでは。
- 委員 施設と行事は、別物と考えても良いのでは。
- 事務局 意見のとおり、言葉の重複を問題視するなら、体育祭は、「ね」音に選択肢があるので、そ ちらに絞り込んでも良いかも知れない。ただ、「ね」音には、先ほども議論のあった保留扱 いの重殿社の作品がある。
- 委員 重殿社については、かるたの題材としての重要度はあまり高くないのでは。健康マッ歩は、 町にどれくらいあるのか。
- 事務局 町内に4つのルートがある。
- 委員 体育祭と絆をテーマにすることが厳しいのであれば、同じ「ち」音で、資料 B には掲載されていないが、体育祭の別の作品がある。そちらを採用する、という考え方もできると思うが。
- 事務局では、ひとまず、健康マッ歩を仮採用としてよろしいか。
- 全員 ※特に意見なし

### ●「つ」 〈保留〉

### ●「ぬ」 <仮採用「ホッツケ・井沢弥惣兵衛」>

- 事務局 「つ」音のトップは、ホッツケの作品。ただし、前回保留となっている。その理由は、内容として、新田開発をテーマとするか、ホタルなど自然をテーマとするか、という点について判断がつきかねたため。
- 事務局 また、ホタルについては、宮代町の環境NPOが毎年、新しい村に幼虫を放流し、観察会を 開催しており、ホッツケ=ホタル、というイメージが定着しつつあるが、ホタルが自生して いるかどうかについては、明確になっていない。
- 委員 一部、自生してきていることは確認できているが、あふれるほどまでは増えていない状態。 昔、自生していたのは間違いないが。
- 事務局 ホッツケ、山崎山関連は、子供の道徳教材にもなっており、題材としての重要性が高いと思われるので、この段階で、作品の絞り込みをしておきたい。資料Cにホッツケ関連の作品を 集めているので、いずれかに決めていきたい。
- 委員 ホッツケといえば、新田開発が一番重要なテーマだと思う。道徳教材でも、新田開発という 切り口で子供たちの教育に使われている。
- 委員 その考え方を踏まえると、井沢弥惣兵衛が関連してくる。ホッツケ関連の題材では、「ぬ」 音の573番の作品が良いのでは。
- 委員 私も、井沢弥惣兵衛の名前が子供たちにも定着していると思う。同感である。
- 委員 新田開発も理解できるが、ホタルが住んでいる町、ということも、子供たちの自慢につなが るのでは。近隣の市町には、ホタルはいない。
- 委員 ホッツケと笠原沼の2つを、別々に採用する方法はとれないか。「つ」音でホタルの句、「ぬ」 音で新田開発の句を採用できると思うが。
- 委員 私は、ホタルの句にやや違和感を感じる。
- 委員 歴史的には、新田開発は井沢弥惣兵衛によるところが大きい。この点については、学校教育 でも取り上げられているはずである。この歴史的な価値は、重要だと思う。

- 委員 最初のイメージは、ホタルが良いと感じたが、話を聞いていると、新田開発も重要だと思う。
- 委員 ホタルは、広い視点で考えれば、珍しいものではない。より宮代町固有のもの、という見方 をすれば、人物の方が重要だと思う。
- 委員 話を聞いていると、井沢弥惣兵衛さんはすごい人物であることが分かった。子供たちのこと を考えると、井沢弥惣兵衛の方が良いと思う。
- 委員 20年前、初代かるたがつくられた当時は、ホッツケは草むらに埋もれて、ほとんどなくなっていた。その後、復原されて今のようになっている。このホッツケをこれからも残していく、という視点で考えると、井沢弥惣兵衛が入る方が、より好ましいのではないか。
- 事務局 それでは、ホッツケについては、「ぬ」音の573番の井沢弥惣兵衛を題材とした作品で仮採用としたい。さらに、「つ」音は、ホタルの句は選択肢から外れるが、残された作品のうち万願寺橋については、知名度はかなり低めなものだと思われる。
- 委 員 万願寺というもの自体が、実ははっきりしていない。杉戸にあったといわれているが、定かではない。
- 事務局 競合している農のあるまちづくりの句は、優先題材となっている新しい村関連の作品として 判断することもできる。その点も含めて、どう判断するかだが、意見がまとまらなければ、 ひとまず保留としても良いと思う。

#### 全 員 異議なし

## ●「て」 〈仮採用「シイガシ」〉

事務局 「て」音については、シイガシの作品で、音、題材共に1位となっている。内容的にも問題 ないと思われるので、とりあえずはこれを仮採用として良いか。

#### 全 員 異議なし

### ●「と」 〈仮採用「郷土資料館」〉

### ●「ふ」 <仮採用「西光院阿弥陀三尊像」または「消防署」>

- 事務局 ここでは、西光院を題材とした作品がある。初代かるたでは、西光院関連では複数の作品がある。また、徳川家康の画像など最近町指定文化財に指定された資料も残されている。採用する作品数にこだわる必要はないが、西光院に関する要素のすべてを網羅することは難しいと思われる。
- 委 員 「と」音の西光院の作品は、表現として、具体的でない部分がある。徳川の何が残っている のか、具体性に欠けている。
- 委員 例えば、徳川の時代の足跡など、少し修正が必要。
- 委員 西光院といえば、やはり阿弥陀三尊像は外せないだろう。もと国宝であり、今でも国の重要 文化財である。また、「め」音に、学校に絡めた西光院の句もあるが、それよりも、阿弥陀 三尊の方が重要性が高いと思われる。
- 事務局 西光院の他の候補としては、「ふ」音に作品がある。「ふくよかな 阿弥陀三尊 西光院」。
- 委員 ふくよか、という表現は、まさに平安時代の仏像の特徴の一つを表している。また、西光院 という表現も含まれているので、これが望ましいと思う。
- 委員 消防署は見送りということか。

事務局 消防署は、候補としてはこの作品のみ。ただ、西光院関連の作品も、これが最も適当な作品 という状況。ひとまず、「ふ」音は西光院と消防署で仮採用としておきたい。

全員 ※特に意見なし

事務局では、「と」音については、資料館と圏央道、古利根川が残る。

委員 古利根川の句は、灯籠が含まれているが、これは杉戸町の主催ではないか。

委員 灯籠祭りは、宮代町も協力している。私は、毎年50枚の絵を描いて、提供している。

事務局 初代かるたでも、古利根川の句には灯籠が詠まれている。

委員 資料館の作品も、良くできている。

委員 資料館でも問題ないのではないか。

事務局では、「と」音は、郷土資料館の作品で仮採用としたい。

### ●「な」 <仮採用「鎌倉街道中道」>

事務局 これについては、音、題材ともに1位で、内容的にも問題ないと思われる。仮採用で良いか。

全 員 異議なし

### ●「に」 <仮採用「日光御成道」>

事務局 こちらも、音、題材ともに1位となっている。仮採用で良いか。

委員 西条原の鷲宮神社で将軍が休んだという記録が残っている。やや細かい話になるが、御成道 というものは、将軍という要素がポイントになる。表現に、このことを含んだ方がより好ま しいという点はある。ただ、解説を加えるなどして、対応することもできるとは思う。

委員 さらに付け加えると、この御成道は幸手までで終わる。その先は、日光街道になる。ただ、 広い視点で考えれば、この作品でも大丈夫だと思う。

事務局 将軍という表現を含ませた作品が、今回は応募されていないため、その点はやむを得ないと 思われる。

#### ●「ぬ」 <仮採用「ホッツケ・井沢弥総兵衛」>

事務局 「ぬ」音については、既に「つ」音の検討の際に議論し、ホッツケ題材で仮採用済み。ただし、東小を題材とした作品が競合していた。東小については、資料 B にはないが、資料 C に候補作品が掲載されている。この先は、東小について留意しながら、検討を進めたい。

#### ●「ね」 〈仮採用「はらっパーク」〉

事務局 ここでは、まず重殿社の題材の取扱いについて最終判断をしておきたい。どのように考えるか。

委員 重殿社よりも、はらっパークの方が良いのでは。ここで出ている作品は、様々な世代に活用されている、はらっパークの現状を良く表現している。

事務局 先ほど、「ち」音で見送りになった体育祭の句も、競合している。

**委** 員 はらっパークの使われ方の特徴が良く表現されているので、はらっパークの句で良いと思う。

事務局では、はらっパークの句を仮採用として良いか。

全 員 異議なし

### ●「の」 〈仮採用「農の道」>

事務局 前回、既に仮採用済み。このままとしたい。

#### ●「は」 〈仮採用「ハクモクレン」〉

事務局 郷土資料館は、既に他で仮採用済み。候補としては、ハクモクレン、図書館、桜市のいずれかとなる。

委員 町の花で、良いのではないか。ここでおさえておいた方が良い。

事務局 それでは、ハクモクレンの句で仮採用としたい。

●「ひ」 ※「こ」音の検討時に、宮代町の名称の題材作品で仮採用済み

#### ●「ふ」 <仮採用「西光院阿弥陀三尊像」>

事務局 先ほどの議論で、西光院と消防署が仮採用の状態だが、このまま進めて良いか。

委員 消防署は、見送りで良いのではないか。

事務局 それでは、西光院の句を仮採用として、消防署の句は見送りで良いか。

全 員 異議なし

### ●「へ」 〈仮採用「宮目姫」〉

事務局 宮目姫、庚申塔が候補となっている。

委員 路傍の庚申塔も、捨てがたい題材ではある。宮目姫も、捨てがたい。姫宮神社は、宮代町の 名称の中に含むという扱いとしているため、単独では出てこない。一方の、身代神社は、お いてけ堀が仮採用となっている。

事務局
そのバランスを考慮すると、宮目姫を選択する理由になる。

委員 宮目姫は、その当時の美しい情景、紅葉の中の姫というイメージを連想させるもの。良いと 思う。

委員 庚申塔は、江戸時代のもので、かなり廃れてしまっている。

委員 ただ、そういった何気ない石造物に目を向けてもらう、という趣旨を含ませるということも 意義があると思う。

事務局 庚申塔の作品は、この1つだけ。ただ、内容的には、庚申塔にまつわる史実との整合性が、 十分でないという面もある。

委員 この表現だと、庚申塔でなくとも当てはまる可能性がある。

事務局 それでは、宮目姫で仮採用としたい。なお、この作品は、同じ句をつくった作者が2人いることにも御留意いただきたい。

### ●「ほ」 〈保留〉

事務局 宝光寺を題材とした句が他になかったため、「ほ」音の1位の宝光寺の作品しか掲載していない。

委員 おしゃかさま、という表現だが、正確には地蔵様。

事務局 宝光寺の本尊は、地蔵菩薩。

委員 おしゃかさまを地蔵様に修正すれば、良いと思う。

- 委員 おしゃかさまは、他でも広く当てはまってしまう。宝光寺ならではの表現となっていた方が 好ましい。
- 委員 宝光寺幼稚園では、子供たちは「ののさま」という言い方をしている。
- 事務局 「ほ」音の他の作品との比較も必要だと思われるので、現時点では保留としたい。
- 全員 ※特に意見なし

## ●「ま」 <保留>

- 事務局 「ま」音は、比較的作品が多く残っている。ひとまず、保留としたいが、いかがか。
- 委員 図書館をここで採用してはどうか。
- 事務局 図書館は優先題材なので、採用することもできるが、表現的に課題があるように感じられる。 ひとまず、保留としたい。
- 全 員 ※特に意見なし

### ●「み」 〈保留〉

- 事務局 弁天社が競合なしで1位となっているため、これ以外に掲載がない。しかし、「み」音については、他にも作品が多く残っているため、保留でも良いと思うがいかがか。
- 委員 弁天社は、非常に小さいもので、東武動物公園駅東口側の、奥まったところにある。一般的 にも、あまり知られていないのでは。
- 委員 弁天社は、地元では唯一のものだが、町全体でみれば、先ほどの重殿社と同程度の評価だと 思う。
- 事務局 それでは、弁天社の題材は見送りとし、他の題材を採用することを前提に、保留としたい。

### ●「む」 <保留>

- 事務局 前回、前原遺跡を題材とした作品が保留となっている。その理由は、「歴史感じる」という 表現があいまいで、具体性に欠ける、ということだった。巨峰については、宮代町のイメージカラーが紫色であり、そのルーツになっているため、仮採用となっていた。一方、伝承題 材として、ぶっさり地蔵の良くできた句が「む」音にある。
- 委員 遺跡が優先題材だが、まだ出ていない。特に、前原遺跡は、石器時代の遺跡として価値があり、知名度も高い。いずれにしても、遺跡の作品を採用する必要があると思う。
- 事務局 巨峰に関しては、他にも選択肢がある。ここで仮採用を外しても、これまでで保留になった 音のいずれかで、採用するという方法もとれる。「む」音の選択肢を広げて、保留という扱 いにしたいが、よろしいか。
- 全員 ※特に意見なし

#### ●「め」 <保留>

- 事務局 「あ」音で同じ作者の作品を採用したため、日工大の作品は自動的に見送りとなる。他の選択肢として、煉瓦橋台、自然・緑が残る。
- 委員 日工大がなくなってしまったので、改めて別の音で拾う必要がある。
- 委員 煉瓦橋台は、宮代町でも5か所ほど残っている。それはそれで価値があるが、ひとまず保留 で良いのではないか。

事務局 それでは、保留としたい。

### ●「も」 <仮採用「百間小」>

委員 まだ百間小が採用されていない。百間小の特徴として、古い(歴史が長い)という点がある。 須賀小よりも、少しだけ古く、宮代町では一番古い。

事務局 この資料には掲載がないが、資料 C を見ると、新しい村を題材とした句が「も」音にある。 その中には、新しい村の施設コンセプトと整合がとれているものがある。

委員 これまでの流れから、小学校はすべて網羅する必要がある。ここで拾っておいた方が良いと 思う。

事務局 それでは、百間小の作品を仮採用としたい。

### ●「ゆ」 <仮採用「雲の果てに」>

事務局 前回の会議で、仮採用となっている。そのままとしたい。

### ●「よ」 〈仮採用「町民まつり」〉

事務局 表現として、町民まつりであることがはっきり読み取れないため、前回は保留となっていた。 夏祭を町民まつりと修正できれば、しっくりくる。

委員 それで問題ないのでは。

事務局 それでは、表現の修正を含みつつ、町民まつりで仮採用としたい。

### ●「ら」 〈仮採用「イルミネーション」〉

事務局 SLとイルミネーションが候補となっている。SLに関しては、日工大の作品でも要素として入ってくると思われるため、その重複が課題となる可能性がある。イルミネーションについては、人気が高かった題材である。

委員 イルミネーションで問題ないのでは。

事務局では、イルミネーションで仮採用としたい。

## ●「り」 <仮採用「笠原小」>

事務局 前回の会議で、六花が仮採用となったが、会議冒頭で説明した通り、笠原小を題材とした同 点作品が発見されたため、再検討をお願いしたい。ただ、笠原小の作品で残されている選択 肢は、「り」音だけになる。そう考えるとここは笠原小で仮採用とすることが適当かと思う。

全員 ※特に意見なし

### ●「る」 〈仮採用「姫宮落川」>

事務局 ここでは、巨峰ワインと姫宮落川が候補。巨峰ワインについては、優先題材である巨峰がいずれかの音で採用される見込みが高いので、さらに巨峰ワインを残す必要性は高くないと思われる。姫宮落川は、先ほども、その重要性について言及されたところ。

委員 たくさんある川の中で、姫宮落川が採用されれば、川の題材としては十分ではないか、という気がするが。

事務局 事実関係について、カワセミが飛び交うという表現は問題ないか。

委員 かなりの数が棲息していると思う。

委員 カワセミは、このところ数が増えてきている。

委 員 カワセミは、川岸が土の状態であれば、巣をつくることができる。姫宮落川の護岸工事が進み、舗装されてしまうと、いなくなってしまうと思う。

事務局 それでは、姫宮落川を仮採用として良いか。

全員 ※特に意見なし

### ●「れ」 〈仮採用「東小」>

事務局 火渡り祭と煉瓦橋台が候補。しかし、火渡り祭は、現在、途絶えてしまっており、かつ、今後の再開の見通しも厳しいと言われている。

委 員 資料 B には掲載されていないが、資料 C にある東小の作品が採用できるのではないか。

委員 ここで東小を採用できれば、すべての小学校が網羅されることになる。

事務局 それでは、ここは1027番の東小の作品を仮採用としたい。

## ●「ろ」 〈仮採用「キャンドルナイト」〉

事務局 キャンドルナイト、地蔵堂、神明神社が候補となっている。

委 員 地蔵堂、神明神社は、小さすぎる。先ほどの重殿社、弁天社と同レベル。見送りで良いのでは。

事務局 その判断で進めると、キャンドルナイトが残る。感謝を伝える、というキャンドルナイトの イベント趣旨を考慮すると、1035番ではなく、1038番の句の方がより正しい表現を した作品となる。この作品を仮採用として問題ないか。

委員 民間団体が実施しているイベントだったと思うが、町の風物詩として定着しているものであり、良いのではないか。

#### ●「わ」 〈仮採用「和戸キリスト教会」〉

事務局 先ほど、既に和戸教会を題材とすることで決定している。

委 員 1つの句の中に、教会という表現が2度使われていて、くどい印象を受ける。

委員 少し修正をすれば、何とかなるのではないか。

委員 埼玉初という表現の「わ」音の1077番をベースに、修正を含んで仮採用としてはどうか。

事務局 それでは、この作品について修正を前提として仮採用としたい。

#### ●「を」 〈仮採用「島村盛助」〉

事務局前回会議で、島村盛助を題材として仮採用済み。

#### ●「ん」 <保留>

事務局 「ん」音は、使い勝手が良いため、今日のところは保留とし、他の句との調整の中で決めていきたいがいかがか。

全 員 異議なし

# (4) その他

- ●新かるたの名称作品の取りまとめ状況(重複の多かったもの)について報告
- ●11月までの会議日程を決定
  - 第 7回 9月 6日(火)18時~
  - 第 8回 9月20日(火)18時~
  - 第 9回 10月11日(火)18時~
  - 第10回 11月15日(火)18時~